

世界の農林水産

Summer
2015

World's Agriculture, Forestry And Fisheries
No.839

特集

国際土壌年 2015

—健全な土壌は健全な食料生産の基盤

Report 1

世界の食料安全保障の
現状と将来の展望

Report 2

シリアで今なぜ
農業支援が必要なのか



JAICAF ジェイカフ

Zero Hunger Network Japan

ゼロ・ハンガー・ネットワーク・ジャパン

No.17

ゼロ・ハンガー・ネットワーク・ジャパンは、飢餓と栄養不良をなくすための国内連帯です。

いつでも・どこでも・だれでも
すべての人においしい野菜を
—メンバー団体の取り組み⑫

稲田信二
株式会社スプレッド
代表取締役・社長

ゼロ・ハンガー・ネットワーク・ジャパンには、現在30を超える団体・組織が参加しています(2015年5月現在)。今回はメンバーの一員である(株)スプレッドに、世界の食と栄養の改善を目指す取り組みを紹介いただきます。

株式会社スプレッドは京都府亀岡市にて完全人工光植物工場を運営しています。スプレッドが創業したのは私、稲田が地元農家さんと交わしたある会話がきっかけでした。「農業はわしの代で終わりじゃ。子どもも後を継ぎたくない」と言っている。わしも苦勞を掛けたくない。」私はそれまで20年以上野菜流通に携わり、農業の今後について懸念していたところでした。そんな中で耳にした農家さんの嘆きの声は私の心に大きく響きました。日本の農業の現状を見てみると、農業従事者の高齢化、天候による生産性や品質の不安

スプレッド亀岡プラントの外観。



定さ、そこから生じる農家収入の不安定さや後継者不足といった問題があります。また、世界に目を向けると、日本と同様に天候や環境問題により農業地域が限定されていくことや人口増加による食料不足の発生が問題となっています。これらの問題をクリアし、世界中の方々がいつでも・どこでも・だれでもがおいしい野菜を手にしてほしい。そして、持続可能な農業や社会の発展を目指し、業界にイノベーション(改革)を起こしたい。そんな思いが私に植物工場というアイデアを湧かせ、スプレッド設立の決意を起こさせました。その思いは現在、当社の企業理念となっています。

スプレッドでは、世界飢餓に対する取り組みとして主に3つの活動を行っています。植物工場の技術開発、世界への植物工場事業アプローチ、そして子どもたちへの食育活動です。

植物工場の技術開発

世界中どの地域でも植物工場を運営するための課題はまだ多く残されています。例えば水の問題。慢性的な水不足に悩む地域があります。植物工場は土ではなく水を使用した栽培形態のため、水の確保が困難では、みなさんに安全でおいしい食物を提供できませ



工場内の栽培エリア。水耕栽培でレタスを栽培しています。

ん。そこで栽培に必要な水を確保し、効率よく水を使用するため、植物工場における水のリサイクルシステムを開発しました。一度使用した水はろ過した後に循環利用することはもちろんのこと、植物から蒸散される水も逃すことなく収集し、100%に近い水を再利用することができます。このシステムによって、少量の水で栽培が可能になるため、水不足の心配がある地域でも農業を始めることができ、地域の食料不足における問題解決の糸口につながります。この最新システムを取り入れた工場は2016年国内に完成を予定しています。

世界への植物工場アプローチ

世界の食料保障を実現するには、現在抱える問題を解決していく必要があります。例えば、天候不順や砂漠化など環境不良により農作ができない地域、また将来の人口増加が懸念されている地域では食料不足危機という課題をクリアにしなければなりません。私たちは前述の通り、世界中のだれでもがおいしい野菜を手にするを理念に掲げ、農業や食物に問題を抱える地域の助けとなるべく、植物工場事業や農業の必要性をアプローチしていきたいと考えています。

そこで、今年3月にアラブ首長国連邦の首長国アブダビで開催された世界農業フォーラムGFIA2015にブースを出展しました。このフォーラムでは中東・アフリカを中心とした持続可能な農業を主要課題に掲げ、世界中から多くの企業やNPO団体、教育機関が集まりました。現地の方との会話を通じて、彼らの農業や食物不足への危機感、そしてそれらの解決策を求める思いを感じました。フォーラムのテーマでもあり、弊社の課題でもある、将来懸念される世界100億人の食料安全保障に対し、植物工場の提案や事業展開を、国内はもちろんのこと、海外にも推進させていきたいと改めて決意しました。

子どもたちへの食育活動

毎年地元・亀岡の小学生や中学生を対象に工場見学や職場体験を行っています。そこでは、現在の世界の飢餓状態や今後環境悪化によって農業が衰退し、食物危機が起こる可能性を示唆し、農業や食の大切さについて子どもたちと一緒に考える機会を設けています。終了後には子どもたちから「給食を残さず食べよう」とか「スプレッドのような新しい農業で問題解決されたらいいね」と積極的な発言が見られ、私たちが嬉しい限りです。また今後、よ

ゼロ・ハンガー・ネットワーク・ジャパンとは

世界の飢餓と栄養不良をなくすための日本国内のアライアンス。2003年に設立された国際的なアライアンスと、これに続く各国でのナショナルアライアンスの設立が背景にある。

ご意見・お問い合わせ先：ゼロ・ハンガー・ネットワーク・ジャパン事務局(FAO駐日連絡事務所内)
E-mail: FAO-JAPAN-INFO@fao.org
ウェブサイト: www.fao.or.jp/zerohunger



工場内を見学した子どもたちからは色々なアイデアや質問をいただきます。

り多くの子どもたちと共にこのような時間を共有したいと考えています。未来の社会を担う子どもたちに、私たちの食育活動がきっかけとなり、世界の飢餓を見逃さない目、自分たちの将来を守る力を身につけてもらいたいと願っています。

私たちは今後も上記3つの活動を通じて持続可能な社会の発展や世界の食料保障の貢献に注力していきます。そして、微力ではありますが、飢餓問題に対して植物工場という解決策を提示していきたいと考えています。

株式会社スプレッド

2006年に設立し、2007年より植物工場 亀岡プラントを運営。日産21,000株の生産量は世界トップクラスを誇る。現在、関東・関西地域を中心に「ベジタス」ブランドにてレタスを販売している。
ウェブサイト: www.spread.co.jp